



●10月27日（金）に上宮田小3年生が、31日（火）に南下浦小3年生が、11月6日（月）に初声小5年生がアマモの授業を行いました。

最初に、指導していただいた小網代パール海育隊（小パール隊）の方から、「アマモが海の生き物の産卵場所、隠れ場所になっている」「三浦半島のアマモが大きく減っている」等の説明があり、この授業は、アマモについて学習することにより、海の環境を大切にす



る心を養うために行うことが伝えられました。

子どもたちは、まず、アマモの種を探し出します。小さくて、私たちの目では、なかなか見つからないのですが、子どもたちの目は素晴らしく、次々見つけていきます。

ゴカイや、カニ、ヒラムシなど様々な生き物が混じった中から見つけるのですが、最初は、「気持ち悪い」といって大騒ぎしていた子どもたちも、だんだんそれに慣れて、どんどん探していきま



した。

その後、種を一粒ずつ、紙粘土に軽く押し付けます。今後、それを、小網代湾に、専門の方が埋めに行くそうです。子どもたちは、アマモの重要性を理解し、しかも、アマモの種や海の生き物にも触れることができ、大変有意義でした。小パール隊の皆さん、ありがとうございました。



●子どもたちの感想より

- ・アマモが海の中で、酸素を作っているということに驚きました
- ・アマモについてくわしく分かったからよかった。小網代に行ってみたくなった
- ・海に育てられて、それをお返ししようとしているから、アマモを増やそうとしているのですか？ほかにできることはありますか？
- ・種をとるとき、他の虫がいっぱいいてびっくりした
- ・アマモの種があんなに小さかったのに驚きました
- ・アマモは、昔いっぱいあったけど、減ってきて海がかわいそう
- ・アマモがどれだけ大切かが分かり、アマモを育てようとしている皆さんがすごいと思いました。
- ・自分の植えた種が、大きいアマモに育つように願っています。海にいる魚などが絶滅しないように、海がにぎやかになってほしいです
- ・小パール隊さんの授業を受けて、とても海に興味を持ちました。海の勉強をもっとしたいと思いました
- ・アマモの種がどこにあるのかわからなかったけど、だんだん慣れてきたら、いっぱい見つけられるようになって楽しめた
- ・アマモが減っていること、それがどうしてかということがよくわかった。私は海の目の前に住んでいるので、もっと海に行きたくなった



（文責 事務局長 渋谷）

海洋教育についてのお問い合わせは、本研究所まで（046-854-9443）